

平成22年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費
 1項 農業費
 6目 農作物対策費

生産振興課(内線:7417)
 (単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
二十世紀梨ブランド化事業	11,500	0	11,500				11,500	
トータルコスト	17,148千円(前年度 0千円) [正職員:0.7人]							
主な業務内容	梨ビジョン達成のための連絡調整及び補助金交付事務							
工程表の政策目標(指標)	-							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

梨ビジョンの達成を目的として、8月出荷の梨の出荷量を削減し、9月中下旬の味がのった旬の二十世紀梨を提供する等先進的な取り組みを行うモデル的な生産部に対し、選果経費の一部を奨励金として交付する。

また、二十世紀梨のブランド化を推進するため、梨ビジョンの考え方を産地全体で検討し、市場関係者・消費者に対して、旬の二十世紀梨のおいしさを理解してもらうための推進活動に助成する。
 事業期間 平成21年度～平成23年度

2 主な事業内容

(単位:千円)

事業区分	事業の内容	事業主体	事業費	予算額	補助率
奨励金交付制度	8月下旬に市場出荷される二十世紀梨の出荷量を、9月中下旬へ移行する取組を実施する生産者(農協)に対し、移行した出荷量に応じて1ケース当たり500円の奨励金を交付する。	農協	31,358	10,450	1/3
	生産部で定めた指針に沿った完熟梨の栽培に取り組み、積極的にPR活動を展開している生産部に対し、完熟梨の増加分に応じて、1ケース当たり500円の奨励金を交付する。				
市場関係者・消費者に対する販売促進活動	旬な時期に出荷される二十世紀梨の「おいしさ」を理解してもらうために市場関係者・消費者に対してPR活動を行う。	農協 全農とつとり	1,500	750	1/2
生産組織内での推進活動	県内各農協単位で梨ビジョン推進にかかる検討会を開催し、生産・販売計画を策定する。	農協	600	300	1/2
合計			33,458	11,500	

3 これまでの取組状況、改善点

平成21年6月補正で予算化

奨励金交付制度は県内17生産部のうち9生産部で取り組まれ、推進事業についても2農協で取り組まれた。

農産物のブランドを確立するためには消費者に美味しい梨を提供し、正しい評価を得なければならないという意識が浸透してきた。

引き続き、事業の推進を図る。